

平成23年(2011年)3月期 決算説明会

2011年5月27日

JASDAQ:3423

 株式会社 **エスイー**

目次

- I. 当社における東日本大震災への対応
- II. 平成23年3月期業績
および平成24年3月期業績予想
- III. 平成23年3月期 事業報告
- IV. SECグループの今後の戦略



I. 当社における東日本大震災への対応

■ 被害状況

人的被害について

→ 従業員ならびにその家族の無事を確認

各拠点における被害状況

→ (株)エスイー 東北支店(仙台市青葉区)
及び(株)キョウエイ(福島県須賀川市及び仙台市
若林区)において設備の一部に軽微な被害が
発生するも業務及び操業に大きな支障はなし

■ 業績への影響と見通し

現時点での当社グループの事業への影響はないものの、以下の現時点では確認できていない要因等により状況が変わる可能性があります。

既存事業	震災対策優先で国交省直轄工事の一時中止命令による 売上減
資材調達	原材料調達での 原価への影響
復興事業	復興・復旧需要による 売上増
電力供給	計画停電や節電による 業務・操業への影響

エスイーグループは、震災復旧・復興に向けて一丸となって全力で取組んでまいります。

■ 被災地支援活動

● 宮城県南三陸町歌津中学校へエスイーバイオマスのソーラー型浄水化装置を無償設置

ライフラインがないなか、太陽光発電によって川の水を浄水化して約600人の避難住民の方に飲料水や生活用水を提供し、朝日新聞やテレビ朝日などでも紹介されました。



● 株主優待制度で被災地への義援金寄付が可能に

■ エスイーグループの貢献

- 急速施工が可能な津波対策防波堤の研究・開発
- 300弱の漁港の復興と耐震補強
- 高台の新しい住宅環境(エコビレッジ)の建設への参画
(株)アンジェロセックと地元コンサルタントとの協業)
- 自立型自然エネルギー活用リサイクル型エコビレッジの創出
 - ー 新型オアシスウォーターによる川の水の飲料水等への供給システム
 - ー エコビレッジでの食料残さ処理プラントによる家畜の飼料化、肥料化、木質ペレットによるエネルギーの供給



II. 平成23年3月期業績

および 平成24年3月期業績予想

■ 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 実績	前年同期比	
売上高	13,651	15,368	1,717	12.6%
営業利益	615	529	△85	△13.9%
経常利益	690	544	△145	△21.1%
当期純利益	396	324	△72	△18.3%
一株当たり当期純利益	51円68銭	42円24銭	△9円44銭	

売上高

- 公共事業費削減による市場規模の縮小と価格競争の激化、北アフリカや中東諸国の政変などによる影響
- 平成22年1月から連結対象子会社となった(株)キョウエイによる建築用資材の製造・販売事業における寄与

営業利益

- 利益率の高い工場製品の販売が伸びず
- 販売費及び一般管理費が対売上高比率0.4ポイント減少

経常利益

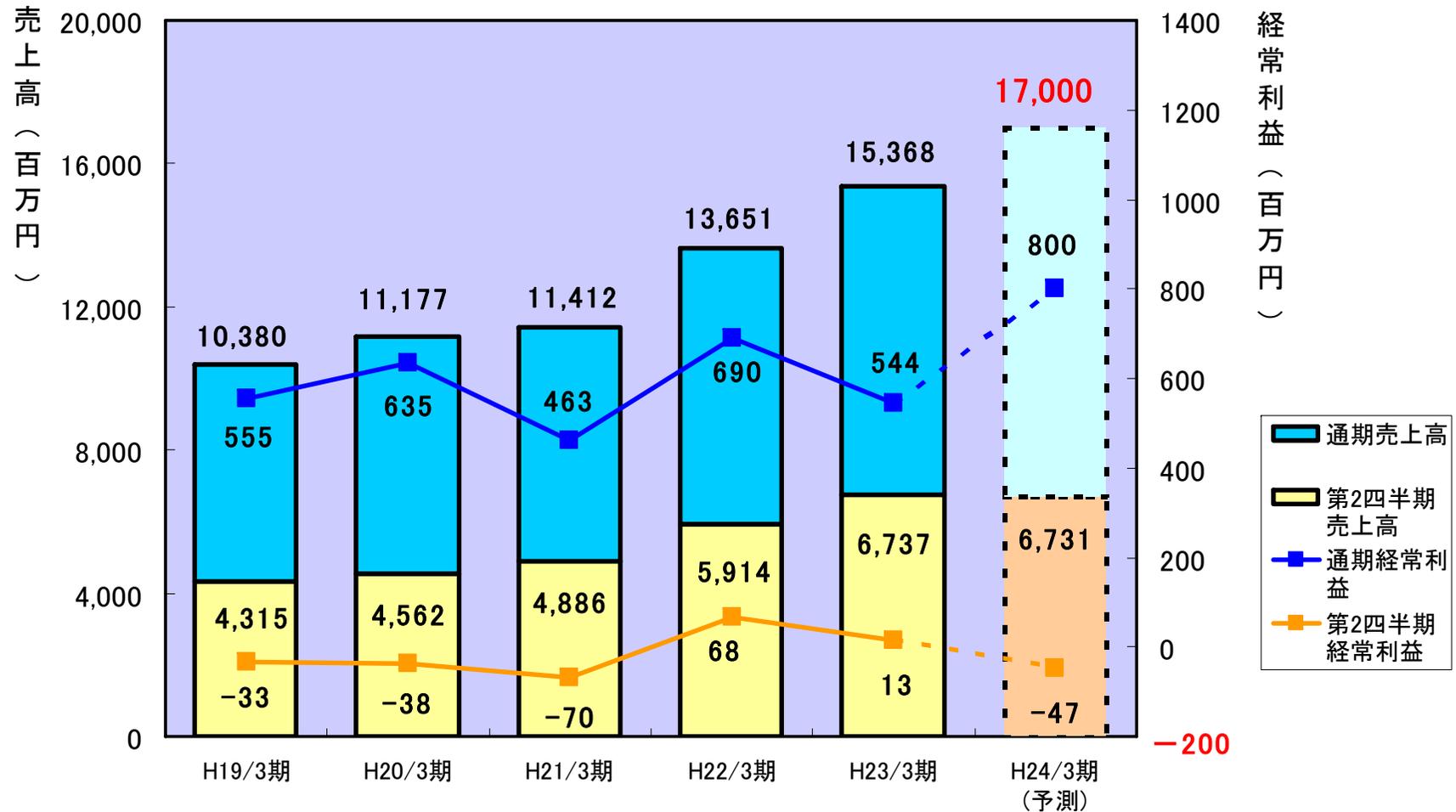
- (株)コリアエスイーからの持分法投資利益が気象等の影響で減少

当期純利益

- 特別利益で補助金収入の発生(36百万円)
- 特別損失で資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の発生(16百万円)

■ 売上・経常利益の推移

(連結) 売上高・経常利益の推移(平成19年3月期～平成24年3月期)



■セグメント別売上高

(単位:百万円)

区 分		平成22年3月期 実績		平成23年3月期 実績		前年同期比	
		売上高	構成比	売上高	構成比		
建設用資機材の 製造・販売	環境・防災分野	8,508	-	8,952	-	443	5.2%
	橋梁構造分野	2,294		1,686		△607	△26.5%
	その他	252		234		△18	△7.2%
	小計	11,055	81.0%	10,872	70.7%	△182	△1.7%
建築用資材 の製造・販売※		1,814	13.3%	3,675	23.9%	1,861	102.6%
建設コンサルタント		763	5.6%	795	5.2%	31	4.1%
その他		18	0.1%	24	0.2%	6	38.0%
合 計		13,651	100.0%	15,368	100.0%	1,717	12.6%

■平成23年3月期より、新しい報告セグメントに変更しております。

■売上高は百万円未満を端数処理(切捨て)しておりますので、内訳数値と合計値が一致しない場合があります。

■ 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	平成22年3月期末	平成23年3月期末	前期末比較	
流動資産	10,882	12,406	1,523	14.0%
固定資産	5,729	5,457	△271	△4.7%
資産 合計	16,611	17,863	1,252	7.5%
流動負債	6,521	7,405	884	13.6%
固定負債	4,007	4,238	231	5.8%
負債 合計	10,528	11,644	1,115	10.6%
純資産 合計	6,082	6,219	136	2.2%
負債・純資産 合計	16,611	17,863	1,252	7.5%

(平成22年3月期末)

(平成23年3月期末)

■ 自己資本比率

36.6%

34.8%

■ 一株当たり純資産

791円55銭

809円28銭

■CF計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 実績	前年同期比	
営業活動によるキャッシュ・フロー	310	1,009	698	224.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△604	△377	227	37.6%
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,304	91	△1,213	△93.0%
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△7	△6	△521.1%
現金及び現金同等物 増減額	1,009	715	△294	△29.1%
現金及び現金同等物 期首残高	1,482	2,491	1,009	68.1%
現金及び現金同等物 期末残高	2,491	3,206	715	28.7%

主なCF項目の要因

- 営業活動によるCF: 税金等調整前当期純利益 5億66百万円、のれん償却を含む減価償却費3億27百万円、仕入債務の増加額 10億円、売上債権の増加額△4億96百万円 など
- 投資活動によるCF: 定期預金預け入れ△1億25百万円、有形固定資産の取得△2億14百万円 など
- 財務活動によるCF: 長期借入による収入 13億46百万円、社債の発行による収入3億14百万円、長期借入金の返済による支出△11億90百万円、社債の償還による支出△1億90百万円 など

■平成24年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)

	平成23年3月期 通期 実績	平成24年3月期 通期 予測	前年同期比	
売上高	15,368	17,000	1,631	10.6%
営業利益	529	765	235	44.5%
経常利益	544	800	255	46.9%
当期純利益	324	471	147	45.3%

◆ 平成24年3月期 期末配当金 **1株当たり 20円**(予定)

■ 一株当たり当期純利益・配当金及び配当性向の推移(連結)

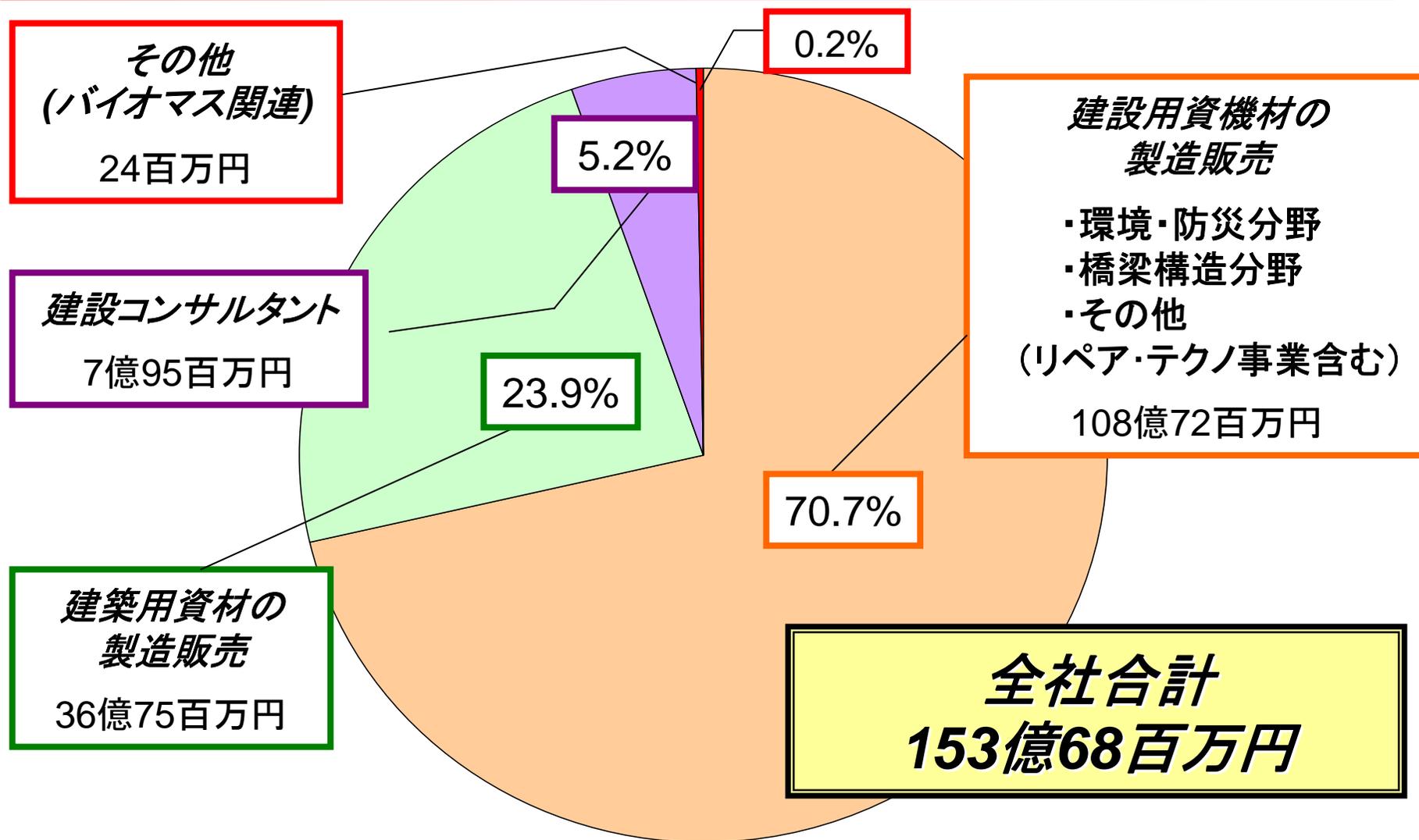
	平成19.3期	平成20.3期	平成21.3期	平成22.3期	平成23.3期	平成24.3期 (予測)
一株当たり 当期純利益(円)	35.02	50.17	31.77	51.68	42.24	61.40
一株当たり 配当金(円)	※20	20	20	20	20	20
配当性向(%)	57.1%	39.9%	63.0%	38.7%	47.3%	32.6%

※ 平成19年3月期の配当金は記念配当5円を含む。



Ⅲ. 平成23年3月期 事業報告

■ 平成23年3月期セグメント別 売上構成



建設用資機材の製造・販売

◆環境・防災事業分野

- －グラウンドアンカー
- －落橋防止装置
- －控索 など

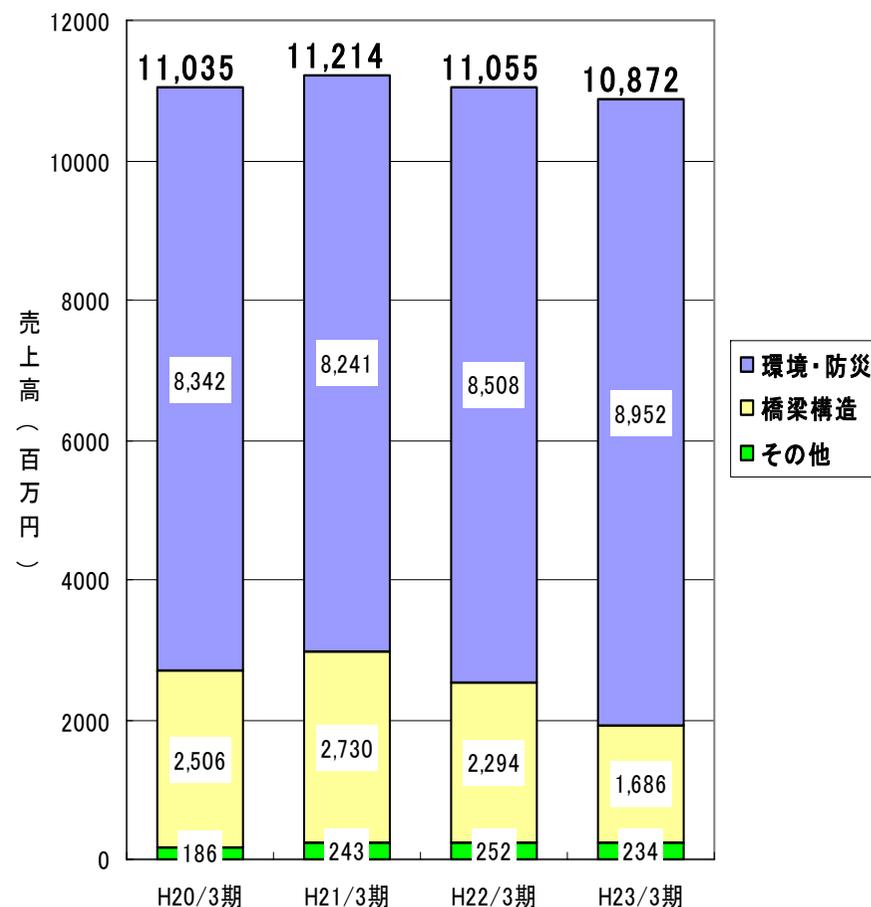
◆橋梁構造分野

- －斜材ケーブル
- －橋梁用ケーブル
- －外ケーブル など

◆その他分野

- －建設用機材のレンタル
- －既設橋梁の補修・補強工事
(リペア・テクノ事業含む)

【建設用資機材の製造・販売事業の売上推移】

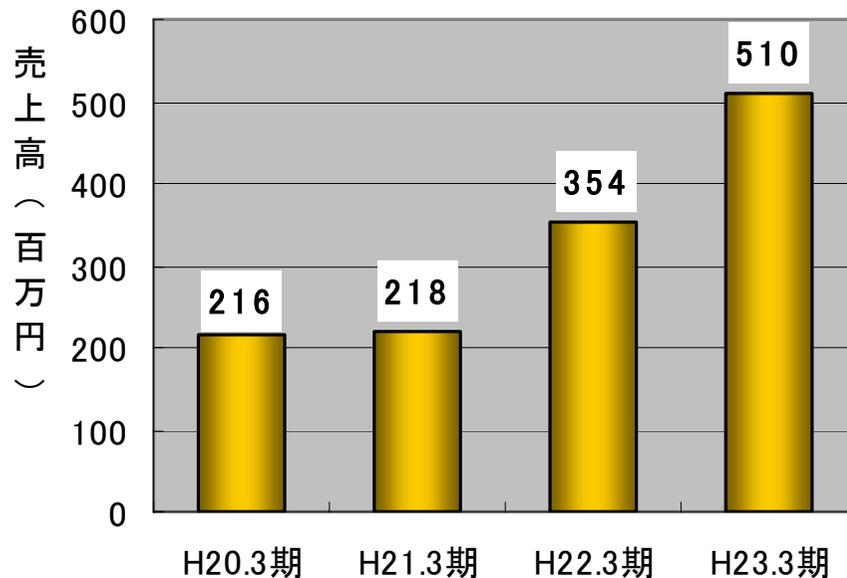


■ 環境・防災分野

非法面アンカーの売上増加

- ・港湾の岸壁・護岸、防波堤、砂防えん堤などの耐震補強
- ・2009年5月『岸壁・護岸耐震補強アンカー工法』が(財)沿岸技術研究センターより評価証取得

＜非法面アンカーの売上推移＞



施工事例：神戸港ポートアイランド



↑ アンカー定着

↑ アンカー緊張

納入実績：ダブルアンカーA型
435本 (L=83m)

■ 橋梁構造分野 ①

受注競争激化するも受注確保

- ・斜材ケーブル → 架設工事物件確保
- ・橋梁ケーブル → 厳しい受注競争で売上大幅減少

「余部橋(兵庫)」平成22年度田中賞 受賞



架け替え工事:2010年8月供用開始

新たに由利橋(秋田県)の物件受注も決定

施工事例:華明大橋(韓国)



韓国現代 ⇄ TIS → (株)エスイー
総額: 約4億円

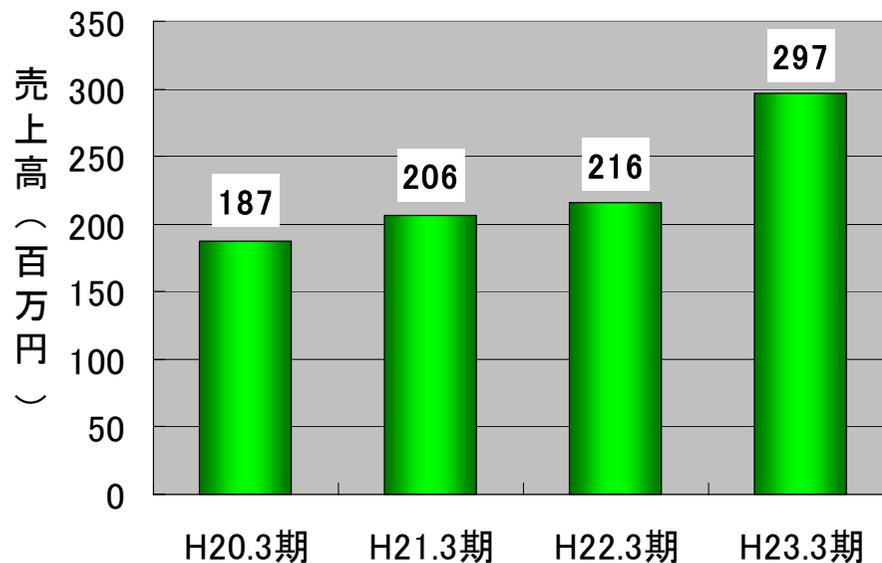
2008年3月 正式締結
2009年4月 施工開始
2011年2月 斜材工事 完工

■ 橋梁構造分野 ②

外ケーブルの売上増加

- ・国交省によるインフラ長寿命化対策
- ・構造物の維持管理が重要課題

＜外ケーブルの売上推移＞



施工事例： 間島橋(新潟県)



＜外ケーブル定着具＞

- ・ケーブルによって耐荷力の不足を補強
- ・高速道路、主要幹線道路をはじめ多くの橋梁に補強工事導入

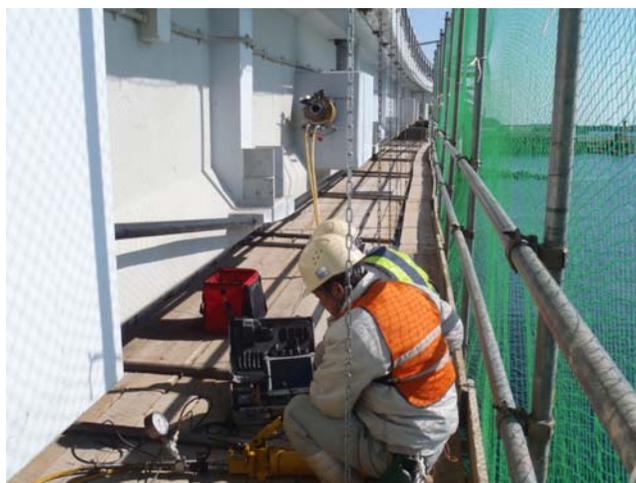
■ リペア・テクノ分野

既設橋梁の補修・補強工事

- ・平成22年8月リペア・テクノ事業部設立
外ケーブルを中心とした補強工事
- ・実績 完工：約8件、施工中：約2件



＜補強工事＞姫路東OFFランプ橋(兵庫県)



＜調査業務＞古座大橋(和歌山県)



＜補修工事＞津波見橋(長崎県)

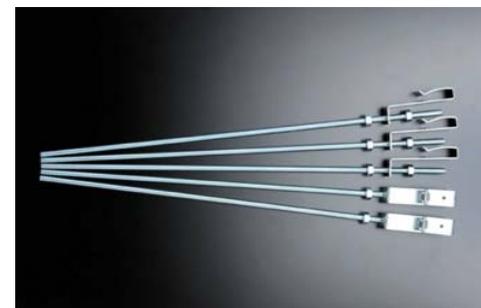
■ 建築用資材の製造・販売

◆ エスイー朝日(株) / (株)キョウエイ

- (株)キョウエイの売上が大きく寄与
- H23年3月期は効率化を徹底
 - ー 共同配送による販売運賃の引下げ
 - ー 製造拠点の見直しと統廃合
 - ー 2社による集中購買 など



< 取り扱い製品 >



↑ コンクリート型枠工事で用いるセパレータ、軽天吊ボルト用全ネジボルト等の製造・販売

■ 建設コンサルタント

◆(株)アンジェロセック

◆JICA発注案件コンサル受注額順位

H21年度 59位 → H23年度 21位

JICA/ODAプロジェクトに関して、アンジェロセックは、日本の国際建設コンサルタントとしての地位を確立

◆外務省NGO連携無償3年連続受注

◆国際的取組の拡大

海外のコンサルタント・コントラクターとの共同取組による国際プロジェクトへの参加拡大の拠点として、2011年3月、韓国連絡事務所をソウルに開設

◆得意分野・地域における継続的受注

チュニジア

地方都市水環境改善事業準備調査
メジェルダ川総合流域管理・洪水対策事業準備調査

ブータン

サイクロン災害復旧支援計画準備調査

コンゴ

キンシャサ市ポワ・ルー通り4車線化調査

タンザニア

ゲレザニ道路拡幅計画準備調査(その2)



■ バイオマス関連

◆ エスイーバイオマステクノ(株)

● ソーラー型浄水装置「オアシスウォーター」

- ー 東京農業大学において製品デモンストレーション実施(2010年8月)
- ー アフリカ圏への営業強化(大使館など)
- ー 緊急時の備えとして国内自治体へも

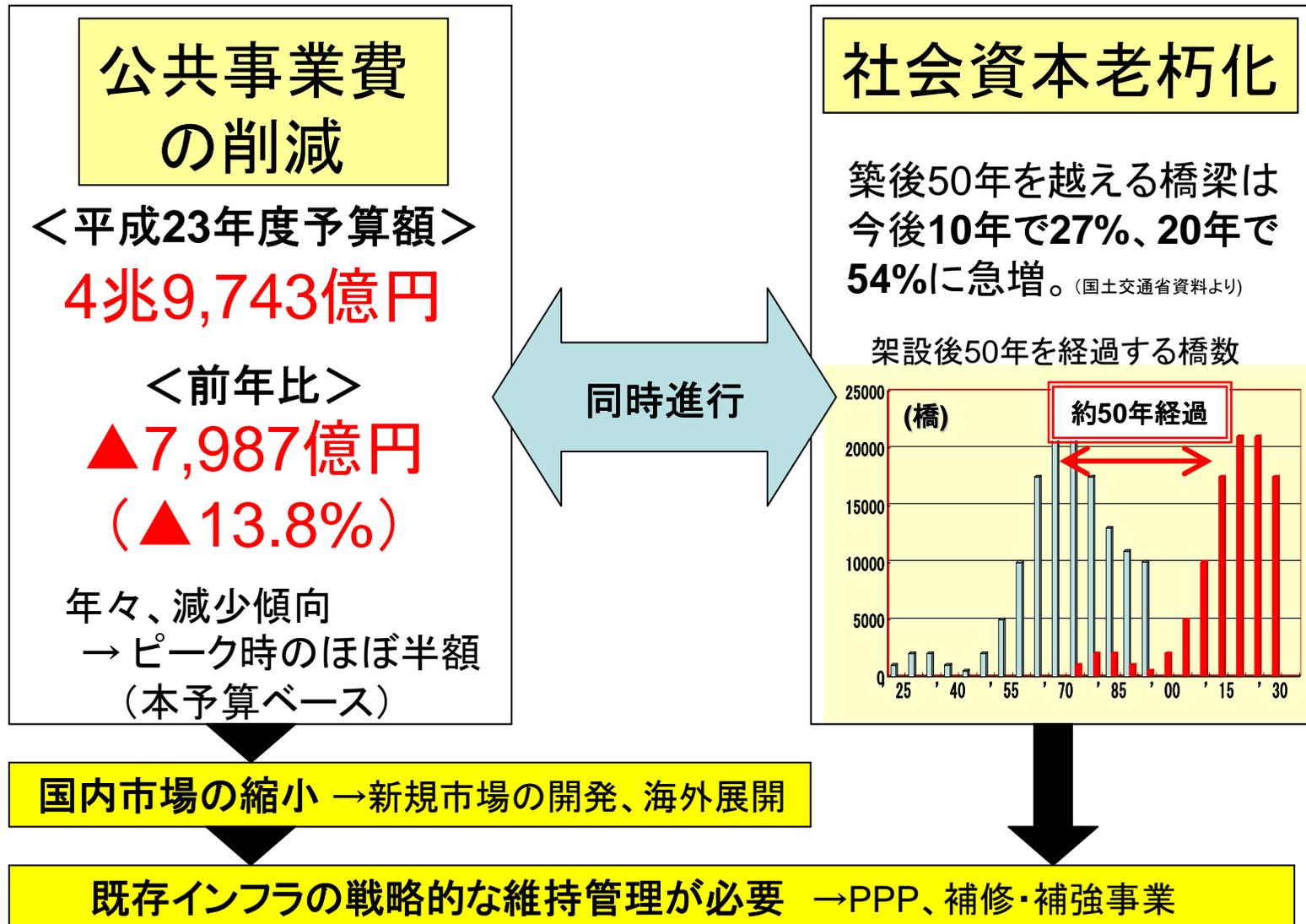


● 新規技術分野の研究開発中(特許出願、製品化検討)



IV. SECグループの今後の戦略

市場環境



■ 今後の戦略

～新たな成長へ向けて～

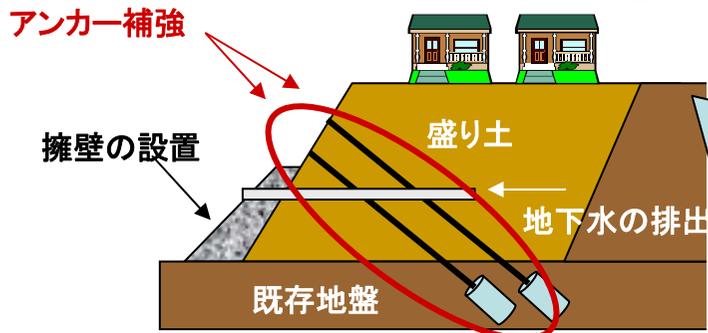
	国内	海外
既存事業	<ul style="list-style-type: none">・既存製品の用途拡大	<ul style="list-style-type: none">・韓国、ベトナムへの事業展開
新規事業	<ul style="list-style-type: none">・PPP・既設橋の補修・補強	<ul style="list-style-type: none">・水処理関連事業

国内 × 既存事業

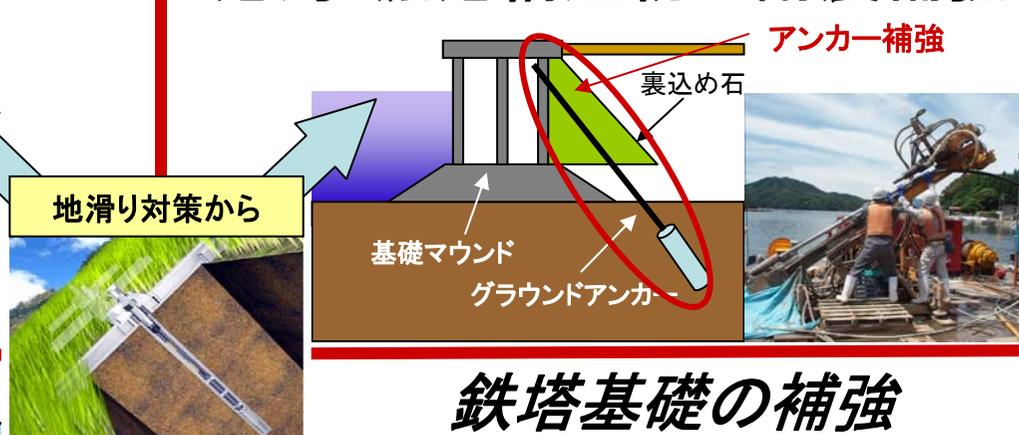
◆ <既存製品の用途拡大>グラウンドアンカーの拡販

震災の影響で、「耐震性」は非常に重要になる

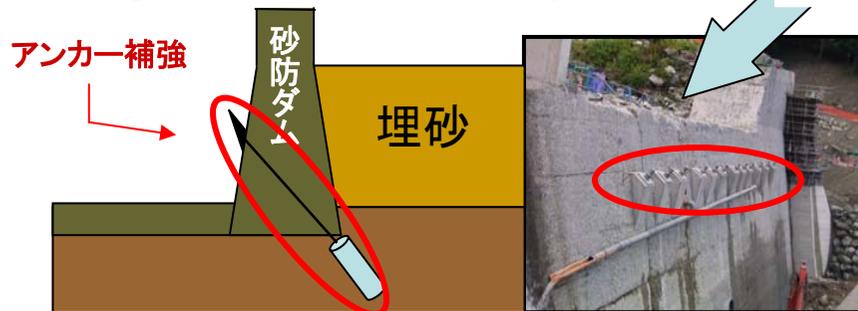
宅地造成地耐震補強



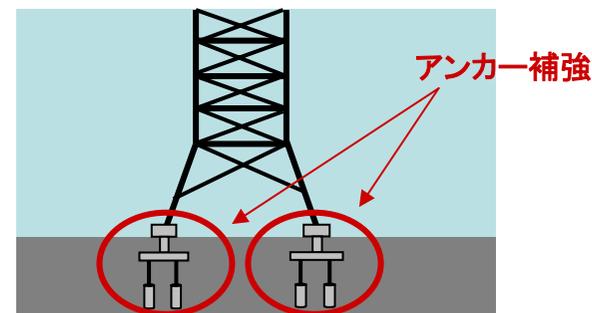
港湾・漁港構造物の耐震補強



砂防ダム(えん堤)補強



鉄塔基礎の補強



新たに、急速施工できる津波対策防波堤の開発も

■ 国内 × 新規事業

◆ PPP(コンセッション方式)による事業提案

国土交通省による「新たなPPP/PFI事業」

当社グループからは、
2件のプロジェクトを提案
「神奈川県三浦市 小網代湾横断橋梁」
「鹿児島県 錦江湾横断橋梁」



◆ 既設橋の補修・補強

- ・リペア・テクノ事業部の新設
→ 受注体制を強化しながら
実績を蓄積



■ 海外 × 既存事業

＜今後の成長性からアジア地域を特に重点的に展開＞

◆ 韓国

- ・ 関連会社である(株)코리아エスイーや T.I.S. (株)との連携
- ・ 華明大橋の完成
- ・ (株)アンジェロセックのソウル事務所開設



◆ ベトナム

- ・ ハノイーハイフォン間高速道路プロジェクト
- ・ V-JECと(株)アンジェロセックの協業で斜張橋(Nhat Le2橋)のデザインチェック業務



■ 海外 × 新規事業

◆ 水処理関連事業の推進

エスイーバイオマステクノ(株)

- ・ 国内外におけるソーラー型浄水装置の展開
- ・ 技術開発推進による早期の製品化・事業化



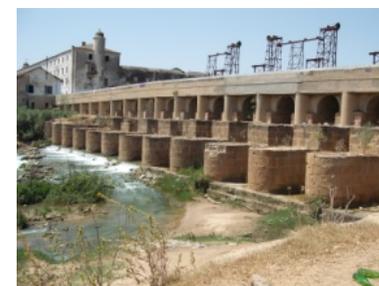
工場での
開発実験の様子

(株)アンジェロセック

- ・ 4月1日 水環境技術部新設
→ 海外水処理事業の調査・分析業務
- ・ JICA／外務省への積極的な水・エネルギー環境開発事業の提案
→ 特にチュニジアにおける連続受注

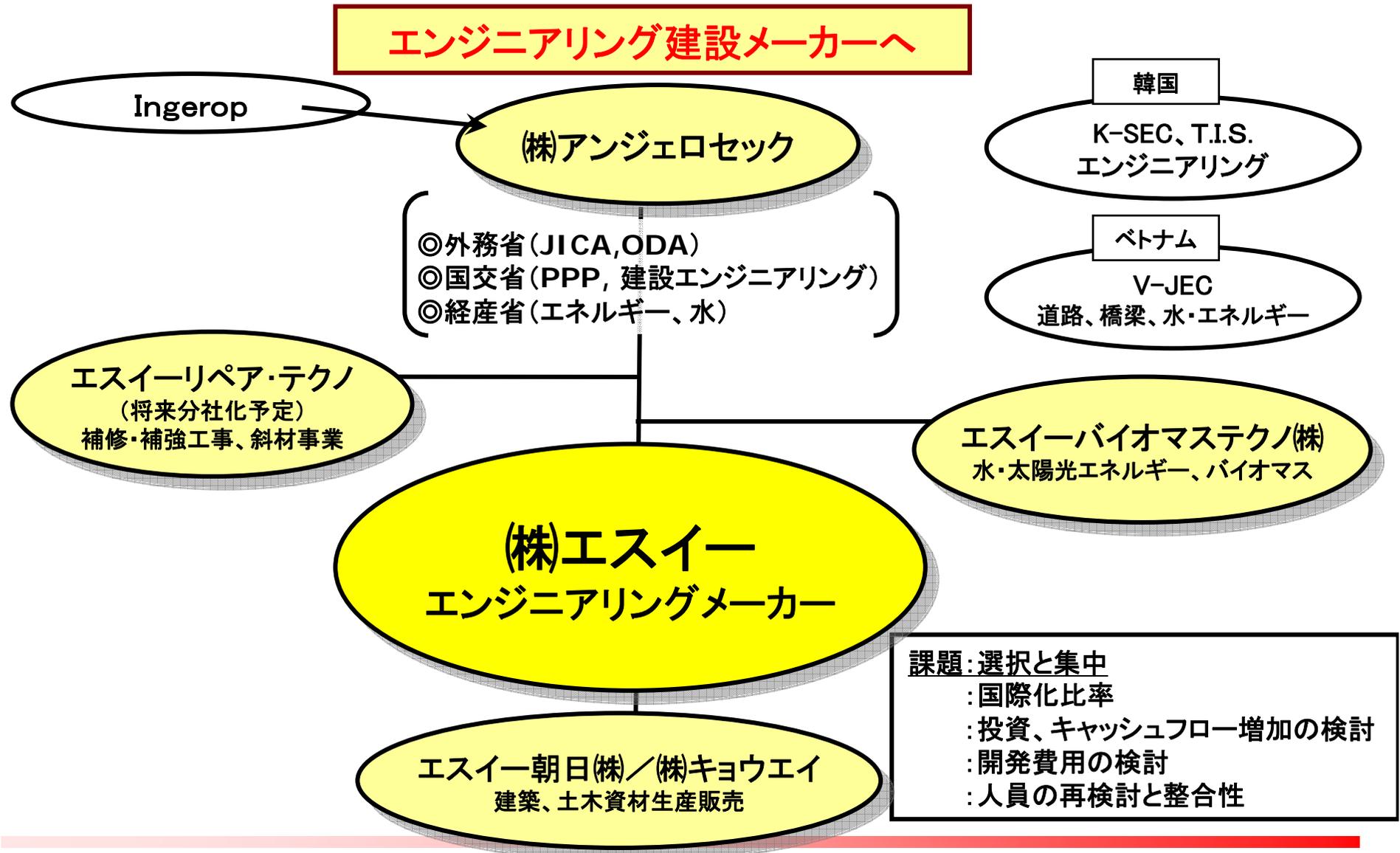


地方都市水環境
改善事業準備調査



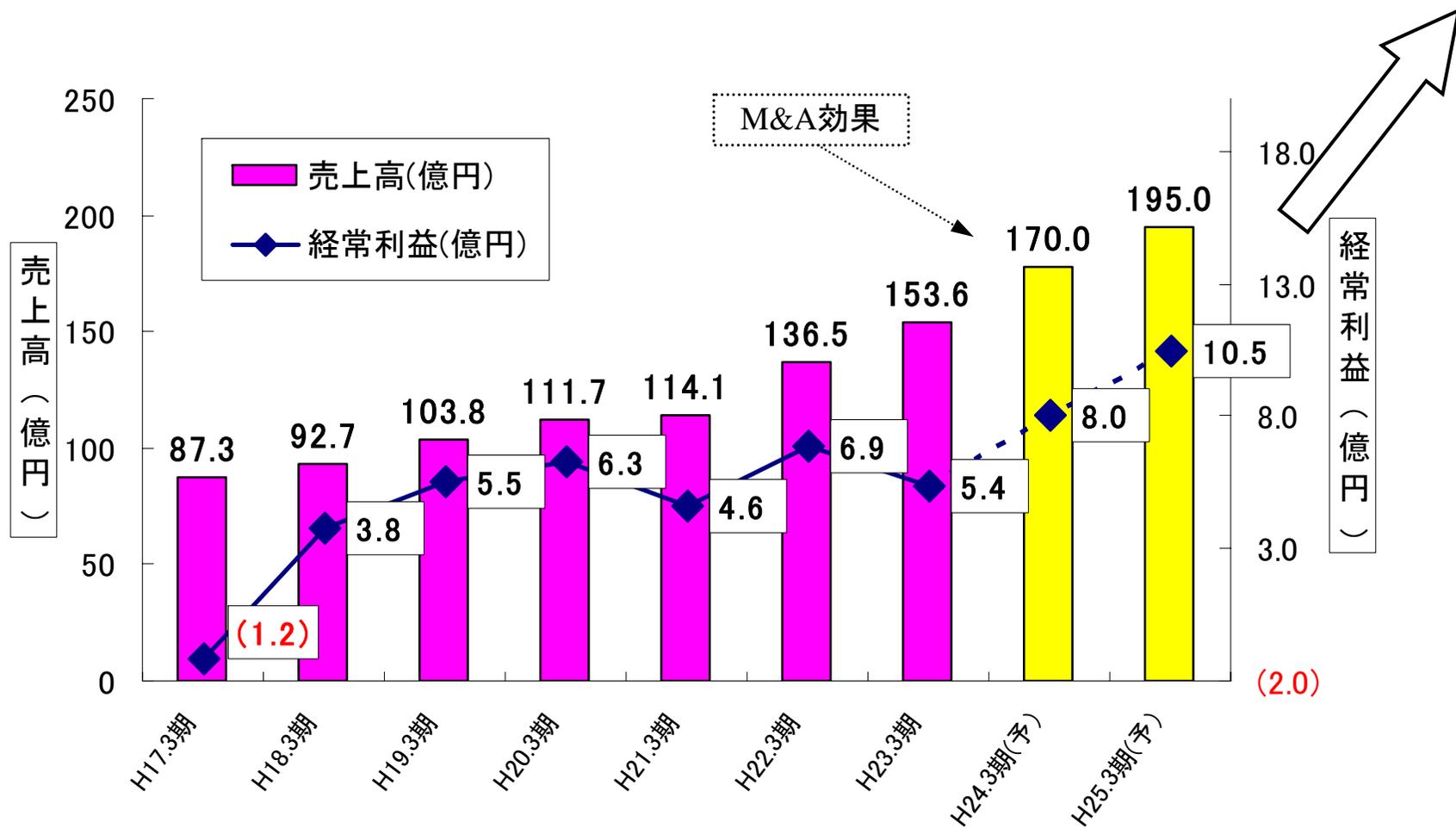
メジェルダ川総合流域
管理・洪水対策事業準備調査

■ ビジネスフロー構想



SECグループ売上／利益計画

SEC 株式会社 エスイー



ご清聴ありがとうございました



 株式会社 **エスイー**

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

Globality Engineering Maker

 株式会社 エスイー